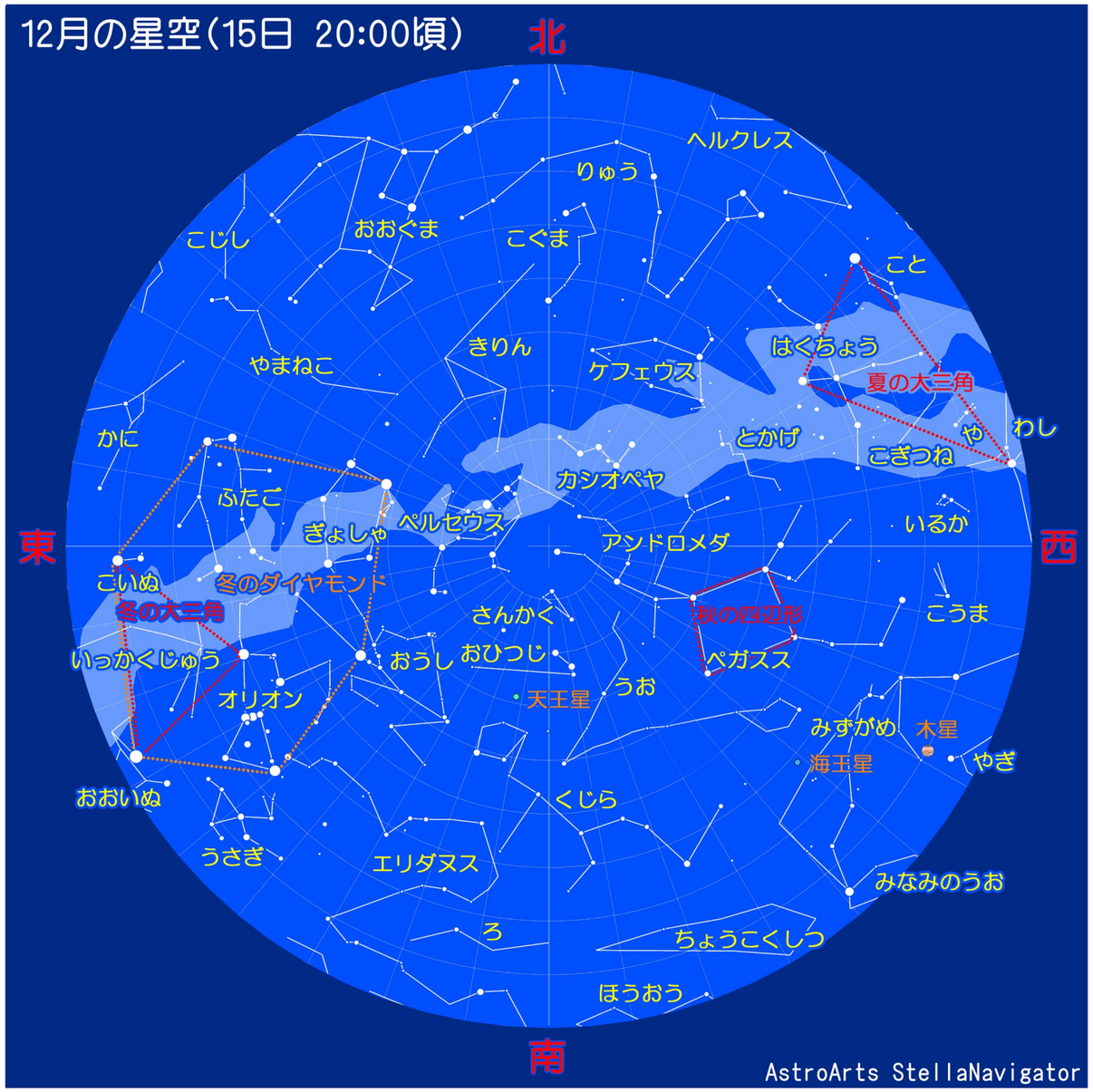
銀河の森天文台
2021年12月みどころ天体情報



月

		出	没
4日	● 新月	06:15	15:38
11日	◐ 上弦	12:07	23:35
19日	○ 満月	15:35	06:57
27日	◑ 下弦	23:56	11:37

天文台から月を見ることができるのは8～22日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星・海王星

太陽系の外側から２つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です。

太陽からの距離

天王星：約29億km

海王星：約45億km

M45（散開星団）

「プレアデス星団」「すばる」と呼ばれている星団で約100個の若い星で構成されています。双眼鏡の視野に広がる姿は宝石箱のようです。アイヌ語ではこの星団を「トランネ・ノチウ（怠け星）」と呼びます。

距離：約410光年

M37（散開星団）

ぎょしゃ座にある明るい3つの散開星団のひとつでその中でも星の密集度が高く、非常に見ごたえのある星団です。りくり望遠鏡では、視野一面に星々が広がる様子を見ることができます。

距離：約4400光年

M42（散光星雲）

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの４つの星（トラペジウム）が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

NGC7662（惑星状星雲）

アンドロメダ座に位置する惑星状星雲で、青い雪玉（Blue Snowball Nebula）という愛称がついています。名前のとおり、きれいな青色が印象的です。

距離：約2000～6000光年

アルマク（重星）

色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

ちょっとマニア・カシオペヤ座イオタ星（重星）

三つの星が集まった三重星です。二つの星はすぐにわかりますが、あと一つは片方の星のすぐそばに寄り添っていて、気流次第ではくっついて見えてしまいます。

距離：約142光年

その他おすすめ

- M52（散開星団）
- NGC1514（惑星状星雲）
- NGC2392（惑星状星雲）
- NGC7331（銀河）
- アキルド（重星）
- メサルティム（重星）
- ガーネットスター（恒星）

今月のイチオシ！

☆M76（惑星状星雲）

ペルセウス座に位置する惑星状星雲で、M27「あれい状星雲」を小さくしたような形に見えることから「小あれい星雲」という愛称で呼ばれています。

りくり望遠鏡で周辺の淡い部分を見ることは難しいですが、中心部の明るい部分は、M27と同じようにくびれている様子を見ることが出来ます。

距離：約1700～15000光年

M76

12・1月の銀河の森天文台カレンダー

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

開館時間

14:00～22:30（4月～9月）

13:00～21:30（10月～3月）

休館日